

応急給水活動の様子

避難所などに給水車で運んだ水を給水袋や持参されたペットボトルに入れて配布します。



応急復旧活動の様子

付近一帯の水道管が被害を受け、水が行き届かなくなっている地域では、道路の脇に仮設の水道管を設置することで、一刻も早く水を使うことができますようにしています。



地震に

備えを



漏水調査の様子

地面の下の水道管から漏水している箇所を、専用の機器で探して特定し、漏水部分の地面を掘って、中にある水道管を修理します。

派遣先での打合せの様子

他の水道事業者と協力し、熊本県内で復旧にあたりました。情報共有が重要です。



■写真は現地で活動中の職員が、活動の間に撮影したのですが、一部画像が粗い点をご了承ください。

日頃から、災害に備えましょう。

平成28年4月、福岡市から100km程しか離れていない熊本県熊本地方を震源に、大きな地震が発生しました。熊本県内や大分県内で大きな被害があり、現地では水道施設の損傷や、水源のにごりによって大規模な断水や給水の制限が起り、市民生活に多大な影響がありました。

福岡市水道局及び(公財)福岡市水道サービス公社からは、震災の翌朝より給水車や職員を派遣し、応急給水活動を行ったり、壊れた水道施設の復旧、全国から応援に集まった水道事業者の調整にあたるなど、延べ1,000人を超える職員を派遣し、復旧への支援を行いました。

水は生命維持にも生活にも不可欠です。どんな時でも、皆さまにお届けするためには、災害時の被害をできるだけ少なく抑え、また迅速な復旧が必要です。

そのためには、日頃からの備えが重要であると、改めて感じております。家庭でも、飲料水の備蓄などご協力をお願いします。